



第七十二号



奉祝 天皇陛下 御即位



新たな時代へ ～平成の大祓並びに踐祚安泰祈願祭～ 詳細は8ページへ

愛媛県神道青年会

事務局 〒790-0838

愛媛県松山市桜谷町173 伊佐爾波神社 内

TEL 089-947-7447 FAX 089-943-3437

URL <http://www.ehimeshinsei.net/>



愛媛県神道青年会

検索



巻頭言

新年度の御挨拶

愛媛県神道青年会

会長 柳原 永祥



謹んで聖寿の万歳と宝祚の無窮を寿ぎ奉ると共に、各御社頭の御隆昌と皆様方の御多幸を心より御祈念申し上げます。

江戸時代の光格天皇以来となる約二百年ぶりの御譲位による御代替にあたり、五月一日より「令和」と改元され、新たな時代が始まりました。当会としては平成最後の夜から令和最初の未明にかけて祭典を行い、上皇陛下への感謝の気持ちを含めて最後の大祓を斎行し、新帝陛下の踐祚の安泰を祈願致しました。時代の大きな節目を、当会の事業で迎えることができ、役員を始め神職の仲間達と奉仕できたことは一生の思い出となりました。また、新たに皇位が継承されたことを心よりお慶び申し上げます。

現状維持は衰退也

さて、前期に引き続き今期も会長の職を任

されることになりました。会員はもとより先輩諸兄を始め神社庁及び各神社・宮司様方の格別なる御支援御協力を戴きまして、諸事滞りなく遂行できます事を深謝致します。二期目とはいえ、まだまだ未熟者ですので、どうぞ御遠慮の無い叱咤激励をお願い致します。今期は、今までも常に意識してきた「現状維持は衰退也」という指針の下、現在の状況に満足すること無く、今までの事業にも更に改良を重ね、会務を運営して参ります。少子高齢化、人口減少が加速する中、当会会員も現在七十四名と私が入会した頃に比べますと八割ほどの人数になつています。氏子数も減少する中で、今まで通りの活動では衰退の一途です。どうすれば神様が喜ばれるのか。参拝者が満足されるのか。活動を共にして一緒に考えたいと思います。

本気で取り組む

当会では、ほぼ毎月役員会を行い、二時間から四時間程かけて議論を重ねて、より良い事業ができないか熟慮しています。県内と言いましても、集合場所に行くだけでも二時間程かかることもあります。全ての事業の裏には汗をかいながら計画立案し、実行した本気の役員がいます。会員の皆様には積極的な参加をお願いすると共に、一緒に楽しんで頂きたいです。一所懸命だと知恵がでる。中途半端だと愚痴がでる。いかに減だと言いつつ。お互いに知恵を出し合ひましょう。

発信する

奉務神社やお祭等について情報発信をされていますか？その内容は伝わっていると思いますか？情報を発信して、相手に正しい情報を伝える。これは大変に難しいことです。以前に参加した中央研修にて講師をされたジャパネットたかたの創業者である高田明先生も講演の

中で「伝えることと伝わることは別物。」とお話しされていました。言葉にして伝えても伝わらないことがあるのに、発信もせずに伝わるはずがありません。最近では情報伝達の手段は増え、アプリ等を利用して個人でも簡単に世界に向けて発信することができるようになりました。昔ながらの手段も良いですが、例年通りでは無く、様々な形で神道教化を進めていく必要を感じています。

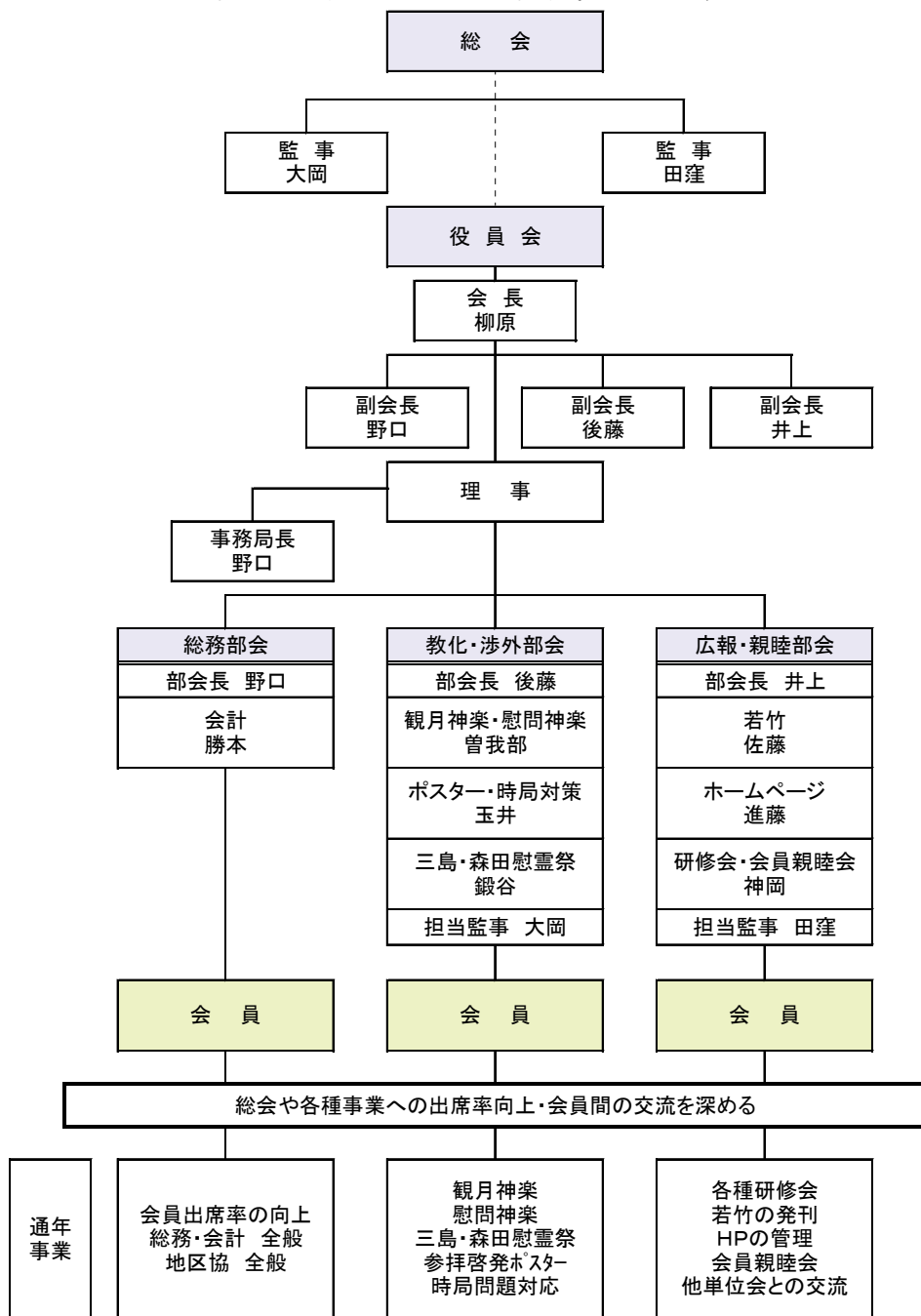
このままでいいの

経営の世界において昔から語られてきた格言があります。「経営者として大成するには、三つの体験のいずれかを持たねばならぬ。戦争か、大病か、投獄か。」この三つの体験はいずれも「生死の体験」を意味しています。これにより「人は必ず死ぬ」「人生は一度しか無い」「人生はいつ終わるか分からない」という三つの真実を直視するようになる。そして「逆行力の高まり」「使命感の定まり」「時間密度の濃縮」をもたらす。戦後の高度経済成長を支えたのは正にこれらの体験を得た人たちです。ここで問われるのは生死の体験の有無ではなく、三つの真実を直視して覚悟を決められるかということです。頭では理解できても行動に起こすことは難しいのです。常にでは無くとも、ふと現状に行き詰まった時に考えて頂きたいと思います。

結びに

これから大嘗祭を始めとする御大礼の儀式が様々行われ、神職にとってはまたと無い学びの期間になります。神職として氏子崇敬者の皆様に教えることができるよう正しい知識を身につけ、奉祝の気運を更に醸成して参りましょう。また、八月八・九日には道後の大和屋にて「御代替」を主題とした研修を行いますので、是非とも多くの参加をお待ちしています。

「現状維持は衰退也」
令和元年～2年度
愛媛県神道青年会 組織図



会員あつての青年会です。
会員の皆様の各事業への積極的な参加をお待ちしております。

新役員紹介



副会長・
事務局長 ◆ 野口 貴令
伊佐爾波神社／榎宜
【一言】今期事務局となりました。
職務を全うできるよう務めます
ので、宜しくお願い致します。



副会長 ◆ 井上 雅仁
大元神社／榎宜
【一言】結



副会長 ◆ 後藤 正幸
高忍日賣神社／榎宜
【一言】今期副会長を仰せつかり
ました。御縁を大切に、職責を全うすべ
く頑張ります。



会 長 ◆ 柳原 永祥
嚴島神社／榎宜
【一言】本気で発信して、楽しもう！



理 事 ◆ 勝本 貴大
石鎚神社／榎宜
【一言】今期会計を担当させて頂
きます。宜しくお願い致します。



理 事 ◆ 玉井 正祥
日招八幡大神社／榎宜
【一言】御縁を大切に。皆さんと意
見を交わし、私自身も大いに刺激
を受け成長したいと思っています。



理 事 ◆ 進藤 雄作
野坂神社／宮司
【一言】皆様との御縁を大切に想
い、楽しく努めて参ります。



理 事 ◆ 佐藤 肇国
三島神社／宮司
【一言】青年神職らしく！



理 事 ◆ 曾我部 洋輔
石鎚神社／榎宜
【一言】二期目となりましたが頑
張って参りたいと思います。
宜しくお願い致します。



監 事 ◆ 大岡 宜徳
白山神社／榎宜
【一言】会員としても最終期にな
ります。
青年会の為、尽力致します。



監 事 ◆ 田窪 大朗
吹揚神社／榎宜
【一言】監事の田窪です。いつの間
にかベテランになりました。
会が上手にいくように導きたい
と思います。



理 事 ◆ 鍛谷 僚
伊豫豆比古命神社／榎宜
【一言】今期より理事になりました。
お力になれるように頑張りたい
と思います。



理 事 ◆ 神岡 史郎
三島神社／榎宜
【一言】自分の与えられた役職を
責任をもって全うしたいと思い
ます。

任期二年
自 平成三十一年四月一日
至 令和三年三月三十一日

会員代表として、1期2年がんばります！
宜しくお願い致します。 役員一同

新年正式参拝 新年研修会・互礼会



【報告者】
愛媛県神道青年会 元理事
上浮穴郡 河崎神社
宮司 柳原 康尚

去る一月二十二日、国際ホテル松山に於いて、平成三十年度の新年研修会並びに互礼会が行われました。

役員は研修会に先立ち、愛媛県護国神社にて正式参拝を行い、場所を移して役員会の後に新年研修会・互礼会と参加しました。



愛媛県護国神社にて

今年度の研修会には講師をお招きせず「愛媛の神輿・祭礼練り」の題材で、南予を越智基安理事・中予を野口貴令理事・東予を大岡宜徳副会長が代表して、特色有る内容を発表されました。神輿や祭礼といった焦点に絞った内容でしたが、その部分だけでも地区ごとに信仰や思想、その表現である特殊

神事など既存の内容であっても、その神社で奉仕している神職の忌憚無い意見や考えを交えて学ぶことができ、とても実り有るものとなりました。

神輿への男女の参加や、神輿の上に乗る事への考え方、また牛鬼や山車など私の所では見たこともない話に興味を引かれ、一度は拝見したいと感じました。地区ごとに特色はあれど、共通する内容もあり、私の本務神社での経験にも通じる事から導入しやすく、またそこから派生して各々が疑問に興味を示せる内容であったと思います。

時間は九十分程と短い時間でしたが、後の互礼会でも会員同士で研修内容を話し合えるものであったように見受けられました。



積極的な意見交換ができました

研修会の後には会場を移し互礼会が行われ、愛媛県神社庁柳原庁長を始め、多くの御来賓、先輩方の御臨席を賜わり、にぎにぎしく執り行われました。本年度は災害が多く、他県の青年会からも沢山の御協力を頂き、先達から引き継いでいる愛媛県神道青年

会の重みを再確認すると共に、新年度役員からの挨拶にて、次期へとバトンを繋げていけると安心できる良い互礼会が出来たと確信しております。

終わりに、お忙しい中御講義賜りました先輩方、互礼会にお越し頂きました御来賓の先生方に深く感謝申し上げます。御報告とさせていただきます。



乾杯



今期役員自己紹介



研修テーマ 随時募集中!!

平成三十年度 神道青年全国協議会 中央研修会(茨城)



【報告者】

愛媛県神道青年会 副会長
松山市 伊佐爾波神社
欄 宜 野口 貴令

平成三十一年三月十三・十四日の日程で、平成三十年度神道青年全国協議会中央研修会が、主管・神道青年関東地区協議会、担当茨城県神道青年会にて水戸市水戸プラザホテルにて執り行われ、全国各地より三〇〇名余が集まり、当会より柳原永祥会長、田窪大朗副会長、善家祐二監事、佐藤肇国理事、野口貴令理事が参加しました。

主題は『氏子と共に歩む時』～過去・現在・未来の中で～を」ということでした。第一講は鹿島神宮宮司の鹿島則良先生より御講義頂きました。

御神託としか思えない夢を見た話など、神秘的なお話を頂きました。

愛媛県では前日入りして独自に香取神宮にも正式参拝しておりましたので、対となる形でお話を伺えて興味深かったです。

す。

第二講は脳科学者の中野信子先生より御講義頂きました。

忘れたり、スルーしたり、いい加減にすることも生きていく上では大切な事だというお話が印象に残っています。

夕方には懇親会を行い全国各地から集まった青年神職で懇親を深めました。二次会となった時に会場が郊外であった為、担当地区以外の二〇〇名余のグループが一斉にタクシーを呼ぶため一向に手配出来なく笑い話ではありましたが、四国地区で開催の際には気を配らないといけない部分だと参考になったと思います。

二日目・第三講は地元神社との関わりも深いアニメーションの関係者である常盤良彦先生、大里明先生、杉山潔先生をお招きし『氏子の未来とまちづくり』として御講義頂きました。人気のあるアニメーションということで、よく町おこしの成功例として特集されるようですが、お三方ともコンテンツにはそこまでの力は無いと考えているようでした。成功した要員は、お客さん側と地元側の共通の話題として浸透させられるかが、楽しんでもらう事に繋がり、リピート客や移住者にも繋がっているのではないかというお話でした。

私は中央研修会に参加したのは初めて

でしたが、今までの報告記事を読むに今回は少し毛色が変わった回だったのではないかと思います。中々興味深かったです。来年は静岡で開催されます、貴重な経験になりますので会員の皆様も是非参加して下さい。



有意義な二日間であり、良い旅となりました

全国の仲間と学び、交流できます！
次回静岡大会に御参加下さい。

神道青年全国協議会 創立七十周年記念 大会参加報告



【報告者】
愛媛県神道青年会 会員
伊予郡 高忍日賣神社
権欄宜 後藤 正明

去る平成三十一年四月十七日に東京都港区の明治記念館において、神道青年全国協議会の創立七十周年記念大会が開催されました。私は、関東在住ということで急遽末席に加えて頂きました。

周知の通り、神道青年全国協議会は皇室国家の護持と神道興隆の精神を受け継ぎ、民族精神の回復、道義国家の再興を目標に、青年神職の信念と決意を結集して創立されました。

記念式典に先立ち、午後二時より茶道裏千家家元の千宗室宗匠を講師に迎え「心を耕す」と題して講演を賜りました。宗匠は日本人にとっての「春」を例に挙げ、日や場所等の条件により見え方が異なること、理想にのみ目を向けていると物事の本質を見誤ることを指摘されました。また、御自身の体験を交えつつ、「最

近の日本人には未来を語る者は沢山いるが、過去を顧みようとする者は少ない」と批判され、「過去を知ることが歴史を知ること」と現代社会における神社の重要性を述べられました。

さらに、昨今のインターネット、とりわけSNS上でのいわゆる「炎上」等の誹謗中傷の事例にも触れられ、自分にとって都合が悪いと相手を極端に排除しようとする現代社会の異常性に警鐘を鳴らされました。その上で、我々宗教者はそうした状況を放置せずに、何らかの手助けが出来るのではないかと話されました。「心を耕す」豊かな心で生きることの重要性を心に留め、神道や神社のもつ役割について改めて認識することで、今後の教化実践に活かしたいと感じました。

式典は彬子女王殿下の台臨を仰ぎ、神社本庁統理(代理・田中恆清総長)等の来賓が多数出席し、会員総勢四百名余りが参加しました。まず、創立七十周年を回顧する迫力ある映像が上映された後、佐野巖会長の挨拶、田中芳明副会長による記念事業の報告が行われました。記念表彰では当会第十五代会長の十亀雅史氏(石鎚神社権欄宜)が斯道興隆への功績が認められ、他の三十七名とともに表彰状を授与されました。

また、彬子女王殿下はお言葉の中で、

近年の神社への関心の高まりと青年神職の様々な活動に触れられ、伝統と革新の大切さについて述べられました。また、神明の御心に叶うように常に心において行動し、伝統の灯火を次世代へつないでいくよう我々神職への期待をお寄せになりました。その後、来賓を代表して、田中恆清総長が神青協三十五周年に会長を務めた当時の体験談を交えて祝辞を述べられました。

記念祝賀会では、鏡開きが行われ、七十周年の佳節に相応しい盛大な会となりました。和気藹々とした雰囲気の中で、全国の仲間と旧交を温め有意義な時間を過ごすことができました。

戦後の混乱期、わが国の危機を救うべく立ち上がった先輩方に思いを致し、七十年



貴重な経験となりました

という歴史の重みを胸に、次の世代のために我々青年神職が情熱をもって行動していかなければと改めて強く感じた大会となりました。

第七十一回 神道青年全国協議会 定例総会



【報告者】

愛媛県神道青年会 副会長
松山市 伊佐爾波神社
欄 宜 野口 貴令

去る四月十八日、神社本庁大講堂において平成最後となる神道青年全国協議会定例総会が開催されました。今回は前日に神青協七十周年記念大会もあり、当会からは引き続き柳原会長と田窪監事、私が出席しました。

総会では、佐野巖会長挨拶の後、定例表彰式があり当会より四十五周年記念事業である『愛媛の太鼓』が周年事業賞に選ばれました。



二年連続の受賞となりました！

ばれており、二年連続での受賞となりましたがこれに慢心せず、斯界に資する事業を続けていけるよう決意を新たにしました。続いて議案審議が行われ、役員任期満了に伴い改選となり、金田新会長を始めとする新役員が選出され、また当会からも田窪監事が四国地区理事となり、神青協新体制が承認されました。

平成の大祓並びに 践祚安泰祈願祭



【報告者】

愛媛県神道青年会 元理事
東温市 川上神社
欄 宜 野口 秀文

平成三十一年四月三十日夜中より正子を越え令和元年五月一日にかけて、松山市の嚴島神社を斎場に「平成の大祓並びに践祚安泰祈願祭」が執り行われました。

柳原永祥本会会長をはじめ五名が祭司・伶人として奉仕し、愛媛県神社庁庁長柳原宰様、本会会員・OB、一般参列者、併せて十名が平成の代の罪穢を祓うべく大祓詞を奏上し、践祚にかかる諸儀式の御安泰を願って祈りを捧げました。

夜の帳も清めの雨に濡れるなか参集した面々は一代に一度の大事に臨んで自ずから畏み、大祓詞を重ねつつ心を合わせ、相共に厳かに清々しく新たな御代を迎えました。

我々は日々繰り返す営みのなかで大小幾つもの境を経るものです。そのうち凡そ最も重く尊い節目といえる御代替を多くの人々と共にめでたく迎えられたことは、一方ならず有難く喜ばしく感ぜられました。

花を催す好雨を思い、令和の御代の平穏と隆昌を心よりお祈り申し上げます。



厳肅な祭典が執り行われました

令和の御代の平穏と隆昌を心よりお祈り申し上げます。



御礼「愛媛の太鼓」神青協周年事業賞受賞



【報告者】

愛媛県神道青年会 監事
「愛媛の太鼓」担当部会長
新居浜市 白山神社
欄 宜 大岡 宜徳

表題の通り、当会再発足四十五周年記念事業の一環として執り行いました、「愛媛の太鼓」映像記録保存」が神道青年全国協議会定例総会に於いて、周年事業賞を受賞させて頂きました。

これもひとえにこの事業に御協力頂きました皆様のお力添えと愛媛神職皆様様の御支援の賜物と、この事業を担当致しました部会長として心より感謝申し上げます。

この事業を始めるにあたりまして、楽譜を纏める事、映像に残す事は難しいとの声もありまし



祝 周年事業賞！

た。しかしながら、諸先輩方の御指導・御協力を仰ぎ、各地区の担当者に御尽力を頂いて、演奏楽譜を纏めることが出来ました。また映像に關しまして、撮影頂いたキューズの宇治郷さんには様々な提案を受けながら、映像に映し出す楽譜の切り替えなどゼロコンマ何秒という細かい部分の修正などすぐさま聞き入れて頂き、申し分の無い映像を完成させて頂きました。

地区太鼓調査報告に關しまして、各地区の太鼓に精通する方にお聞きし、こちらの冊子も纏めDVD発行から後程の発行でございましたが、これも含めての受賞となりました。

当会は昨年ホームページが優秀広報賞を頂き二年連続のエントリーにも関わらず、このように周年事業賞を頂くことが出来たのは、多くの方の御協力御支援の賜物にほかなりません。これからも当会は様々な受賞をして頂けるような事業を展開していく所存であります。

ここに受賞の御報告と共に厚く御礼申し上げます。

神道青年四国地区協議会 会長就任挨拶



【報告者】

愛媛県神道青年会 監事
今治市 吹揚神社
欄 宜 田窪 大朗

この度、四月より神道青年四国地区協議会の会長を仰せつかりました、愛媛神青の田窪です。愛媛県のみならず、他四国三県の素晴らしい先輩方や後輩が沢山いる中で、私が会長ということで、大変身が引き締まる思いであります。私が青年会に入った時は、まさか四国の会長を仰せつかるとは思いませんでしたが、愛媛県を始め四国の会員同士や先輩方との出会いに感謝をしながら、明るく楽しく元気よく、この二年間を歩んで行きたいと思えます。

何卒宜しくお願い致します。

第四十八回 定時総会



【報告者】
愛媛県神道青年会 会員
西条市 三嶋神社
欄 宜 堀川 翔央

六月七日(金)午後五時より国際ホテル松山に於いて、柳原会長以下十五名の会員出席のもとで第四十八回定時総会が開始されました。

柳原会長の挨拶の後、議長が選出され議案審議に入り、平成三十年年度会務報告、豪雨復興支援会計報告、特別会計報告の後監査報告、そして令和元年度活動計画案及び予算案の報告が行われ異議なく承認され、滞りなく進行しました。

議案の中にも盛り込まれているように、昨年度は豪雨災害があり多くの人々が大変な目に遭われ、私自身も青年会としても



復興支援活動をさせていただき、災害に対する心構えや対応策の大切さを改めて痛感致しました。柳原会長が挨拶で言われていたように現状維持に満足せず災害対策も普段の神職としての活動もつねに前回より少しでも改善していく事が大切だと感じました。



聖寿萬歳奉唱



定時総会にて

定時総会懇親会に参加して



【報告者】
愛媛県神道青年会 会員
松山市 多賀神社
欄 宜 中西 由大

私は兼職ということもあり、平素は青年会の活動に参加することもままならず、

諸先輩方と話をする機会が少ない中で、懇親会を通して、普段の仕事の話を始め、私と同じく兼業をされている方の話、同じ趣味を持たれている方の話など、公私問わず分け隔てなく、様々な話をして頂ける機会は、大変貴重で有り難く感じています。また最年少で右も左もわからない私に、優しく丁寧に様々な事を御教示頂き、大変勉強になる場になりました。

これから、今回の定時総会、懇親会で学んだ事、また、このような機会を与えられている事に感謝し、より一層神明奉仕に励み、青年会の活動にも積極的に参加し、青年会をより一層盛り上げていくよう努めて参る所存でございます。まだまだ至らぬ若輩者ですが、今後とも、御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い致します。



御来賓挨拶



お忙しい中御臨席ありがとうございました

今年度の事業計画・予算、無事承認頂きました。
各事業への御協力、何卒宜しくお願い致します。

平成三十年度 会務報告

平成三十年

起 平成三十年 四月 一日
至 平成三十一年 三月三十一日

四月 十七日	平成二十九年年度一般会計監査 (柳原会長以下七名出席)	【松山市・厳島神社】
二十五日	第一回 役員会 (柳原会長以下十一名出席)	【上浮穴郡・三島神社】
二十六日	神道青年全国協議会 第六十九回定例総会 (柳原会長以下三名出席)	【本社本庁】
全	菊波の友垣会 (柳原会長以下三名出席)	【明治記念館】
五月 十一日	再発足四十五周年特別会計監査会 (柳原会長以下五名出席)	【松山市・厳島神社】
十八日	第二回役員会 (柳原会長以下十四名)	【国際ホテル松山】
	第四十七回定時総会 (柳原会長以下二十名出席)	【全】
	定時総会懇親会 (柳原会長以下五名御臨席)	【全】
二十九日	山口県青年神職会創立七十周年記念式典 (柳原会長以下三名出席)	【ホテルニュータナカ】
六月 六日	神道青年四国地区協議会第一回役員会 (柳原会長以下四名出席)	【高知県・薫の会館】
	神職青年四国地区協議会 役員研修会 (柳原会長以下四名出席)	【全】
十三日	神道青年四国地区協議会 顧問会 (柳原会長以下四名出席)	【高知県・得月楼】
十四日	広島県青年神職会交流会 (柳原会長以下五名)	【広島県呉市】
二十一日	第二十回慰問神楽 (柳原会長以下十一名出席)	【野村小学校】
二十六日	第三回役員会 (柳原会長以下十二名出席)	【今治市・吹揚神社】
二十七日	神社庁定例協議会 (柳原会長出席)	【愛媛県神社庁】

七月 一日	会報「若竹」第七十号」発行 愛媛県女子神職会二十周年奉告祭・総会 (柳原会長出席)	【愛媛県神社庁】
三日	神宮神道青年会合同研修会 (柳原会長以下八名出席)	【松山市内】
十三日	神政連県本部代議員会 (柳原会長出席)	【国際ホテル松山】
十七日	平成三十年七月豪雨 復興支援活動 (大岡副会長以下八名出席)	【宇和島市・安藤神社】
十九日	平成三十年七月豪雨 復興支援活動 (柳原会長以下八名出席)	【西予市・三嶋神社】
二日	第四回役員会 (柳原会長以下九名出席)	【宇和島市・三島神社】
六日	神道青年四国地区協議会 平成三十年七月豪雨被災地復興支援活動 《三輪田副庁長以下七名出席》 《神道青年全国協議会 会長以下十一名出席》 《兵庫県神道青年会 副会長以下七名出席》 《奈良県神道青年会 会長以下四名出席》 《和歌山県神道青年会 副会長以下二名出席》 《四国地区協議会 会長以下二十二名出席》 (柳原会長以下十三名出席)	【宇和島市】
二十九日	神道青年全国協議会 夏期セミナー 『転換期にたつ我ら』～世論を喚起するために～ 《第一講》「平成の御代替りと憲法改正運動」 講師・打田 文博先生 《第二講》「国体」皇室・神社・国家・臣民の道」 講師・田尾 憲男先生 《第三講》「次の御代替りの諸儀について」 講師・大原 康男先生 《第四講》「日本らしい国づくりに向けて」 講師・伊藤 哲夫先生 (田窪副会長以下二名出席)	【神社本庁】
二十九日	神道青年四国地区協議会台風二十一号被害における復興作業 (柳原会長以下八名出席)	【徳島県・日和佐八幡神社】
十三日	神道青年四国地区協議会定例総会 (柳原会長以下七名出席)	【ホテル白い燈台】
六日	第二回 役員会 (柳原会長以下四名出席)	【全】
十三日	参拝啓発ポスター発送作業	【愛媛県神社庁】

全	新年研修会 演題「愛媛県之神輿・祭礼繰り」 《森理事以下御来賓四名御出席》 （柳原会長以下十八名出席） 新年互礼会 《柳原厅长以下御来賓八名御臨席》 （柳原会長以下二十一名出席） 第十七回神道政治連盟時局対策連絡会議 （柳原会長出席） 第九回 役員会 （柳原会長以下十七名出席） 神道青年全国協議会 中央研修会	二月 四日 五日 二十五日
全	「愛媛県神社庁」 【自民党本部】 【松山市・嚴島神社】 【伊豫の間】 【茨城県・水戸プラザホテル】 《第一講》「神に仕えて思うこと」 《第二講》「現代社会と氏子・科学の力と祈りの力」 《第三講》「氏子の未来とまちづくり」 《氏子と共に歩む時》過去・現在・未来の中で」 《鹿島神社と水戸の教え、そして鹿島神宮の中今》 《中野 信子 先生》 《鹿島 則良 先生》 《中野 信子 先生》 《柳原会長以下五名出席》 平成三十年度監査会 （柳原会長以下八名出席）	三月 十三日 十四日
全	皆様方に御協力を賜り会務が遂行出来ましたことに深謝致します 会長 柳原 永祥	四月 十二日

愛媛県神道青年会 平成30年度一般会計歳入歳出決算書

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

歳入の部 単位：円

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	659,000	680,000	21,000	年会費・定時総会々費・新年互礼会々費
2 助 成 金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄 付 金	1,350,000	1,722,000	372,000	県内支部・神社・神職寄付金
4 雑 収 入	152	0	△ 152	
5 繰 越 金	790,848	790,848	0	平成29年度より
歳入合計	3,000,000	3,392,848	392,848	

歳出の部 単位：円

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付 記
1 会 議 費	600,000	495,520	△ 104,480	定時総会・役員会・新年互礼会・地区協役員会・監査会他
2 研 修 教 化	670,000	657,957	△ 12,043	観月神楽・慰問神楽・新年研修会・各種研修参加助成他
3 事 業 費	200,000	104,760	△ 95,240	参拝啓発ポスター頒布事業
4 広 報 費	370,000	305,424	△ 64,576	若竹70号／71号作製費及び発送費・HP管理費
5 事 務 費	150,000	114,643	△ 35,357	事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備 品 費	10,000	0	△ 10,000	
7 旅 費	550,000	490,000	△ 60,000	神青協定例総会・神青協出向役員旅費補助
8 慶 弔 費	80,000	50,000	△ 30,000	慶弔金・電報代
9 分 担 費	300,000	272,000	△ 28,000	神青協及び地区協醸出金・各種友好団体年会費
10 交 通 費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑 支 出	10,000	16,298	6,298	復興支援金（野村町三嶋神社へ）
12 予 備 費	10,000	0	△ 10,000	
歳出合計	3,000,000	2,556,602	△ 443,398	

歳入合計 ￥3,392,848 歳出合計 ￥2,556,602 差引残高 ￥836,246

愛媛県神道青年会役員会 会長 柳原永祥 提出

平成31年4月12日

愛媛県神道青年会 令和元年度一般会計歳入歳出予算書

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

歳入の部 単位：円

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	659,000	609,000	△ 50,000	年会費・定時総会々費・新年互礼会々費
2 助 成 金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄 付 金	1,350,000	1,354,000	4,000	県内支部・神社・神職寄付金
4 雑 収 入	152	754	602	預金利子他
5 繰 越 金	790,848	836,246	45,398	平成30年度より
歳入合計	3,000,000	3,000,000	0	

歳出の部 単位：円

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会 議 費	600,000	580,000	△ 20,000	定時総会・役員会・新年互礼会・地区協役員会・監査会他
2 研 修 教 化	670,000	720,000	50,000	観月神楽・慰問神楽・新年研修会・各種研修参加助成他
3 事 業 費	200,000	160,000	△ 40,000	参拝啓発ポスター頒布事業
4 広 報 費	370,000	430,000	60,000	若竹72号／73号作製費及び発送費・HP管理費
5 事 務 費	150,000	150,000	0	事務用品・寄付金其の他振替手数料他
6 備 品 費	10,000	10,000	0	
7 交 通 費	600,000	550,000	△ 50,000	神青協交通費補助（定例総会・出向役員）、会長手当6万
8 慶 弔 費	80,000	80,000	0	慶弔費・電報代
9 分 担 費	300,000	300,000	0	神青協及び地区協醸出金・各種友好団体年会費
10 雑 支 出	10,000	10,000	0	
11 予 備 費	10,000	10,000	0	
歳出合計	3,000,000	3,000,000	0	

歳入合計 ￥3,000,000 歳出合計 ￥3,000,000 差引残高 ￥0

愛媛県神道青年会役員会 提出

平成31年4月12日

諸先輩方の御協力に感謝申し上げます

令和元年度 活動計画

四月	十二日	平成三十年度会計監査会	【松山市・厳島神社】
	十七日	神道青年全国協議会 創立七十周年記念大会 第七十一回定例総会	【明治神宮記念館】 【神社本庁】
五月	二十三日	第一回 役員会	【松山市・厳島神社】
	一日	平成の大祓並びに踐祚安泰祈願祭	【松山市・厳島神社】
六月	二十日	第二回 役員会	【大元神社】
	四日	神道青年四国地区協議会 第一回 役員会・顧問会	【香川県】
	七日	第三回 役員会	【国際ホテル松山】
		第四十八回定時総会	【全】
七月	十七日	慰問神楽	【中萩小学校】
	一日	会報「若竹・第七十二号」発刊	【湯神社】
八月	八日	第四回 役員会	【松山市・大和屋本店】
	〃九日	神道青年四国地区協議会 総会並びに研修会	【松山市・大和屋本店】
	〃二十七日	神道青年全国協議会	【高知県】
	〃二十八日	令和元年度 夏期セミナー	【神社本庁】
	三十日	神道青年全国協議会 天下大祓	
九月	四日	神道青年四国地区協議会	
	五日	第二十二回神道行法錬成会 神道青年四国地区協議会 第二回 役員会	【高知県】 【全】
	十三日	観月神楽の夕べ	【網敷天満神社】

十月	十一月二十五日	参拝啓発ポスター発送作業 第五回 役員会 第三十七回観月神楽の夕べ	【中予】
		第六回 役員会	【南予】
		三島森田両烈士追悼慰霊祭	【愛媛県護国神社】
		第七回 役員会	【東予】
十二月	十日	大嘗宮見学研修旅行 中国五県青年神職協議会・ 神道青年四国地区協議会合同会 第三回 役員会	【東京都】 【徳島県】 【全】
一月	一日	会報「若竹・第七十三号」発刊 第八回 役員会 新年研修会・新年互礼会	【国際ホテル松山】 【全】
二月		第九回 役員会	【南予】
三月	十八日	第十回 役員会 神道青年全国協議会 令和元年度 中央研修会	【東予】 【静岡県】
	〃十九日	令和元年度 中央研修会	
		*（日時未定） 会員親睦研修会・交流会 *時局問題への即応	

●その他、日程等は役員会にて議案審議

太字のものが愛媛県神道青年会の独自の活動です。
会員の皆様の参加をお待ちしております。

平成三十年度 助成寄付御芳名

※順不同にて掲載させて戴いております

御助成

金 貳拾萬圓也

愛媛県神社庁 殿

御寄付

【東予】

金 壹拾萬圓也

石鎚神社

武智 正人 殿

金 伍萬圓也

大山祇神社

三島 安詔 殿

金 參萬圓也

神社庁

新居 支部 殿

吹揚神社

田窪 久 殿

一宮神社

矢野 哲夫 殿

金 壹萬伍仟圓也

今宮神社

佐藤 学 殿

石岡神社

越智 基晃 殿

金 壹萬圓也

大島八幡神社

矢野 秀綱 殿

堀江神社

合田 千里 殿

熊野神社

田邊 捷 殿

橋新宮神社

高橋 佳幹 殿

玉生八幡神社

平田 彰 殿

嘉母神社

石川 雅司郎 殿

荒木八幡大神

松本 恒夫 殿

高尾神社

玉井 忠素 殿

三嶋神社

越智 静治 殿

村山神社

榊田 嘉津雄 殿

周敷神社

井上 初美 殿

大西神社

及川 徹也 殿

網敷天満神社

菅 利之 殿

三嶋神社

堀川 泰規 殿

三島神社

大西 元宣 殿

須賀神社

藤原 豁博 殿

別宮大山祇神社

高田 康成 殿

高浜八幡神社

亀山 和磨 殿

原八幡大神社

矢野 敬陽 殿

大浜八幡大神社

桧垣 壮次 殿

綾延神社

森 正康 殿

八幡神社

福田 友徳 殿

潮早神社

浅海 宜英 殿

多伎神社

沼崎 守文 殿

姫坂神社

沼崎 守文 殿

矢矧神社

田窪 吉典 殿

白山神社

大岡 忠臣 殿

喜多浦八幡大神神社

馬越 祥穂 殿

大元神社

十亀 興美 殿

伊曾乃神社

堀川 修巧 殿

金 伍仟圓也

千足神社

鳥谷 康恵 殿

八幡大神社

安藤 史典 殿

生名八幡神社

吉田 浩喜 殿

弓削神社

川原啓三郎 殿

徳威神社

桐野 正信 殿

橘八幡大神社

馬越 將文 殿

土居神社

矢野耕一郎 殿

奈良原神社

竹之内紀久江 殿

保内八幡神社

中島佳代子 殿

金生八幡宮

合田 正士 殿

碓掛天満宮

小池 清史 殿

濱上神社

赤尾 和則 殿

八雲神社

近藤 純夫 殿

金 參仟圓也

八幡神社

竹内 啓 殿

【中予】

金、壹拾萬圓也

伊豫豆比古命神社

長曾我部昭一郎 殿

金、伍萬圓也

神社庁

松山 支部 殿

金、貳萬八仟圓也

神社庁

伊予 支部 殿

金、貳萬圓也

嚴島神社

柳原 宰 殿

金、壹萬圓也

神社庁

東温 支部 殿

神社庁

久万 支部 殿

伊豫稻荷神社

星野 暢廣 殿

三嶋大明神社

大内 正人 殿

桑原八幡神社

石丸 剛司 殿

還熊八幡神社

玉井 次明 殿

忽那島八幡宮

大宮 信篤 殿

波賀部神社

武智 彰宏 殿

生石八幡神社

中西 祐司 殿

高縄神社

正岡 重則 殿

國津比古命神社

井上 忠史 殿

雄郡神社

高市 誠司 殿

伊佐爾波神社

野口 光比古 殿

八幡神社

小野 哲也 殿

三島神社

高市 誠 殿

勝岡八幡神社

武智 国史 殿

金刀比羅神社

大谷 伸二 殿

客王神社

二神 良昌 殿

湊三嶋大明神社

渡部 定詔 殿

東雲神社

田内 逸知 殿

井手神社

横田 貞子 殿

高忍日賣神社

後藤 正宜 殿

金、七仟圓也

三島神社

宮田 正秀 殿

金、伍仟圓也

日尾八幡神社

三輪田 純 殿

天満神社

武智 成保 殿

徳威三嶋宮

別府 頼房 殿

金刀比羅神社

山下 幸志 殿

正八幡神社

権名津 卓久 殿

三島神社

高市 俊次 殿

阿沼美神社

大内 將通 殿

伊曾能神社

武市 盛幸 殿

廣田神社

武智 盛明 殿

櫛玉比賣命神社

井上 貞人 殿

諸山積神社

武智 佳子 殿

高家八幡神社

都子野 清明 殿

八幡神社

桑原 浅雄 殿

五柱神社

森 東洋司 殿

素鷲神社

水地 明彦 殿

三島神社

横田 武敏 殿

金、参仟圓也

三島神社

芥川 幹 殿

三島神社

武智 仁志 殿

住吉神社

辻田 正明 殿

【南予】

金、七萬圓也

和霊神社

三輪田 泰生 殿

金、参萬圓也

神社庁

宇和 支部 殿

金、貳萬伍仟圓也

神社庁

宇和島 支部 殿

金、貳萬圓也

神社庁

八西 支部 殿

八幡神社

常磐井 守興 殿

八幡神社

常磐井 守道 殿

金、壹萬圓也

神社庁

南宇和郡支部 殿

三嶋神社	和氣利雄殿	三嶋神社	阿部康茂殿	三嶋神社	一宮康人殿	八幡神社	是沢美久雄殿	龍王神社	今城速人殿	三嶋神社	吉田充邦殿	三柱神社	梅川俊一殿	黄幡神社	青木武司殿	宇和海地区神社	宮本勝弘殿	金、伍阡圓也	太郎大明神社	佐々木文雄殿	八坂神社	都築芳憲殿	立石神社	都築芳憲殿	新田神社	都築芳憲殿	新田八幡神社	都築芳憲殿	春日神社	宮田昭殿	賀茂神社	上甲一則殿	天満神社	宮本稚秋殿	三嶋神社	三瀬高徳殿	岡森神社	寺谷秀彦殿	金、参阡圓也	湯嶋天神社	菊池國興殿	三嶋神社	横山和郎殿
------	-------	------	-------	------	-------	------	--------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	---------	-------	--------	--------	--------	------	-------	------	-------	------	-------	--------	-------	------	------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	--------	-------	-------	------	-------

第四十七回定時総会 御祝

金、壹萬圓也

嚴島神社

柳原 宰殿

和霊神社

三輪田 泰生殿

伊豫豆比古命神社

長曾我部昭一郎殿

浮嶋神社

相原 宗正殿

八幡神社

清家 貞文殿

客王神社

二神 良昌殿

朝日八幡神社

田内 一弘殿

観月神楽 御祝

金、壹萬圓也

嚴島神社

愛媛県神社庁殿

嚴島神社

柳原 宰殿

三嶋森田両烈士追悼慰霊祭玉串料

金、壹萬圓也

神道政治連盟愛媛県本部

殿

金、伍阡圓也

日本会議愛媛県支部代表幹事

越智 敏雄殿

金、参阡圓也

愛媛県議会議員
金、壹阡圓也

森高 康行殿

新年互礼会 御祝

金、貳萬圓也

八幡神社

清家 貞宏殿

金、壹萬圓也

伊豫豆比古命神社

愛媛県神社庁殿

綾延神社

森 正康殿

高忍日賣神社

後藤 正宜殿

周敷神社

井上 初美殿

櫛玉比賣命神社

井上 貞人殿

客王神社

二神 良昌殿

八幡神社

清家 貞文殿

伊豫豆比古命神社

後藤 雅彦殿

八幡神社

常磐井 守道殿

金、伍阡圓也

愛媛県女子神職会殿

御賛同の上御寄付を賜り深謝致します

会長 柳原 永祥

青年会活動に御理解戴き、過分なる御厚意を頂戴いたしましたこと、
重ねて厚く御礼申し上げます。 役員・会員一同

それ行け！二足のわらじ

兼職会員インタビュー



File.10

松山市 日吉神社
宮司 都子野 清紀さん
職種 高等学校 教諭

―教職を目指したきっかけを教えてください。

父親が神主をしながら教員をしていた背中を見ていたので、神社と仕事を両立させる為には、土日を確実に休められる職を選ばないといけないと思っていました。

中二の時に教えてもらった社会の先生の授業が面白くて「こんな先生いいな」と思い、歴史と教える事が好きでしたので、社会の先生になりたいと決意し、神職と地歴公民の資格が取得できる皇學館大学へ進学しようと考えました。

―迷う事はありませんでしたか？

最初は小学校の先生に憧れた時期があり、小学校の先生を目指すのであれば、絶対ではないのですが国公立に進んだ方が良さそうですよ。小学校の先生を目指したかったのですが学力が足らなくて(笑)同じ教員でも小学校の先生にこだわらず「教員の仕事がいい」という考え方が根本的にあったので、皇學館大学へ進学しました。

―今は社会を教えているのですか？

就職した当初は日本史を教えていたのですが、日本史の先生は沢山おられて、地理の先生は二人しかいなくて。

三年目に「地理をやってみない？」と声を掛けられ「キター！」と思いました(笑)

工業科の地理から始めて、四年目からは特進の理系へ行かされ「これで地理の教員だな」と思いましたが、地理も凄く好きでしたので納得しています。

―生徒に神道精神を伝えたりしますか？

思想を持ち込んで変に繋げようとは思いません。社会では中立な立場で物を言わないと、様々な生徒がいますので、神道の教を学校に持ち込まない様にしています。それでも例えば日本史の中で、天皇や神話の話が出てきた時には、補足程度に話す事はあります。

学校も神社でも会話を大切にしています。



どのように物事を話せば相手に分かり易く伝わるのかなと考えています。学校の仕事をしているからこそ、神社の方でも活かされている技量なのかなと感じます。

―神道から活かされている事は？

神主は掃除が大切だと感じていて、時間がある時には殿内境内をきれいに掃除しています。



データで出ているのですが、掃除が出来る子は勉強もできるんですよ。一つの空間をどのような手順で、掃除道具は何が必要なのかを考えて行う事により、掃除の時間って、けっこう頭を使っているんですよ。ただ何も考えずに行動するのではなく、色んな事を考えながら行動する事によって、人の事を思いやる子になると思うし、それに伴い、周りから感謝の気持ちで接してくれると思います。

掃除はその人の人柄を表すものだと思うので、生徒に口うるさく言いますが、案外みんな掃除を真面目にしてくれます。

物事をお金で図るのではなく、奉仕の心で、色んな所で活かされ、掃除が出来る人になって欲しいですね。

《取材 湊 和樹》

神社を清浄に保ちましょう!!

趣味人

第十回

〜神青会員のオフタイム〜

伊予市中山町出渕 三島神社
権欄宜 阿部 玲子さん

神青会員の多彩な趣味を紹介するこのコーナー。今回紹介する阿部玲子さんは、ある事がきっかけで『編みぐるみ』を始められました。作品を持参して頂き、女子力全開の内容を御覧下さい。

—どのような手芸をされますか？

編み物やビーズ細工などしています。お裁縫の針は、縫い目を綺麗にしないといけないのが苦手で、裁断したり縫ったり難しい作業がない編み物は、多少失敗しても味がある様に見えるので、ザツでも出来ます(笑)持参した編みぐるみなのですが、存在は知っていました、きっかけがなくて。

—では何がきっかけだったのですか？

学生の中から遊んでいた、携帯ゲームの配信が終わって悲しくなり「このキャラクターのぬいぐるみが欲しい」と思った

のがきっかけです。ゲームセンターにあるクレールゲームの景品として出ているのは知っていたのですが、田舎には置いてなくて。どうしても欲しくて、先ずは練習で色んな物を編んでいき、これは自分で考えて作りました。



名前は「セトルリン」です。
ネットで画像検索して
是非！見比べて下さい。

今もこのゲームが続いていたら、編みぐるみをしていないかもしれません。

—どのように学ばれましたか？

便利な世の中で、本を購入して見たり、作り方を公開されている動画サイト見たりして、編み方の基本を学びました。編む人の引き締め方によっても変わりますが、毛糸をかぎ針の太さによって網目を緩く固く太く細く編みます。



必需品のかぎ針です♪

—編む時間が掛かりそうですね。

大きな物は時間が掛かるので、小さな物を短期間で作るのが好きです。飽き性なので、飽きがくる前に一気に編もうとするのですが、胴体を編んで手足が面倒だったり、使いたい毛糸の色が無かったりしたら、止めてしまいます。なので、未完成の物がありますが、気が向いたら完成を目指します。途中で止められるのも良いです。

—身近な人はされていますか？

井上副会長は、ビーズ手芸・編み物歴十五年位されているそうで、棒針で編まれた帽子の作品を見せて貰い「先生がいる！」と高揚し話が盛り上がりました。

女性神職の参加を促す一つとして、青年会の『編み物クラブ』を立ち上げ、男性女性神職が集い輪を広げられたらいいと思います。



《取材 湊 和樹》

青年会御卒業

定時総会に於いて、会則により卒会の年を迎えられました先輩方を御紹介いたします。

龍王神社 権禰宜(元監事) 善家祐二様
 浦渡神社 禰宜(元副会長兼事務局長) 矢野忠臣様
 伊曾乃神社 権禰宜(元理事) 高橋政裕様
 八幡宮 禰宜 合田慶尚様
 白山神社 権禰宜 大岡裕美様
 三嶋神社 禰宜 越智慶様
 矢矧神社 禰宜 田窪伸吉様
 三島神社 禰宜 高市淳史様
 八幡神社 権禰宜 清家宏吉様
 三島神社 権禰宜 越智三和様

長年に亘り当会の御活躍に御尽力賜りまして誠に有り難うございました。会員一同感謝申し上げます。
 今後尚一層の御指導と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に益々の御活躍を御祈念申し上げます。

新入会員紹介

保内八幡神社 権禰宜 中島 菜摘
 湯嶋天神社 禰宜 菊池 文孝
 以上 新入会員です。

結婚報告

石鎚神社 権禰宜 曾我部 洋輔 美奈
 去る令和元年五月十二日に、石鎚神社にて神前結婚式を執り行いました。
 今後、二人で力を合わせて笑顔の絶えない幸せな家庭を築いていきたいと思っております。
 今後とも、御指導御鞭撻のほど宜しくお願い致します。



編集後記

今回、初めて編集を担当致しました。会長の巻頭言にもありますように、伝えることの難しさを痛感致しましたが、次回の発行に向けて、読んで頂ける方が読みやすく、青年会の活動が伝わりやすい会報誌になるよう努力して参ります。今後とも会報誌「若竹」を宜しくお願い致します。
 (愛媛県神道青年会理事 佐藤肇国)

八月八日

神道青年四国地区協議会
 第二十五回定例総会・研修会
 【場所】松山市・大和屋本店
 【主題】「御代答」祭祀と継承」
 秋葉山本宮秋葉神社 禰宜
 國學院大學 研究開発推進機構
 研究開発推進センター 共同研究員
 河村 忠伸 先生
 綾延神社 宮司
 松山東雲短期大学 名誉教授・
 愛媛県神社庁 理事
 森 正康 先生

八月二十七日・二十八日

神道青年全国協議会 夏季セミナー
 【場所】神社本庁
 【主題】「新しい御代の教化活動」
 【内容】「実践大嘗祭の基礎知識」
 國學院大學 研究開発推進機構
 研究開発推進センター 助教
 高野 裕基 先生
 「言論界における左派・右派の現状とその対立を越えてゆく方法」
 國際政治学者・
 株式会社山猫総合研究所代表取締役
 三浦 瑞麗 先生
 「SDGsの概要と政治の取組」
 外務省國際協力局地球規模課題総括課長
 甲本 浩太郎 先生

八月三十日

神道青年全国協議会
 天下大祓
 【場所】全国単位会各所
 九月四日
 神道青年四国地区協議会
 第二十一回神道行法録成会
 【場所】高知県・加茂神社
 【道彦】星神社 宮司
 【助彦】仁井田神社 宮司
 吉野 慶 先生

九月十三日

観月神楽
 【場所】網敷天満神社
 神道青年全国協議会
 創立七十周年記念事業 聖寿奉祝の碑祭典
 【場所】沖繩県・波照間島
 十一月二十五日
 三島森田両烈士追悼慰霊祭
 【場所】愛媛縣護國神社

